

# 町の家計簿 令和4年度 決算報告

決算に表れる数字は、町がどのような事業に取り組みどれだけのお金を使ったのか、財政状況や将来の負担はどうなるのかなどを読み取るために重要な役割を果たします。

今月号では、町議会9月定例会で認定された令和4年度の一般会計および特別会計などの決算の概要についてお知らせします。

## 用語解説

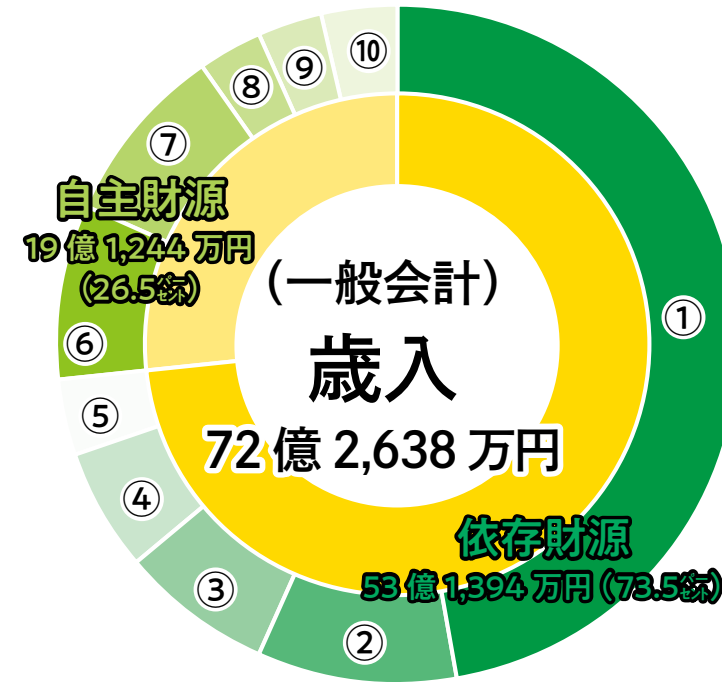
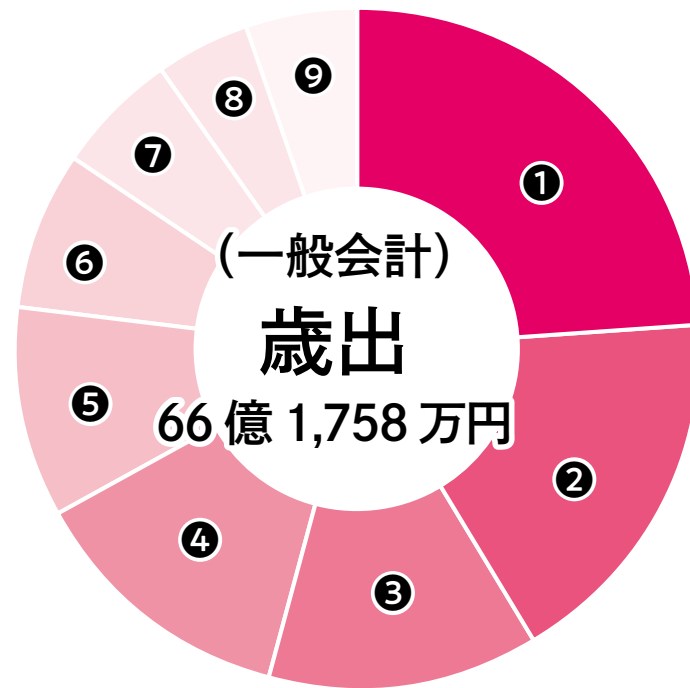
**一般会計**＝町の基本的な行政運営のための会計。福祉や土木、教育などの一般的な事業を行う。**依存財源**＝国や県などから交付されるお金。**自主財源**＝町が自ら収入できるお金。**地方交付税**＝一定水準の行政サービスができるように自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金。**町債**＝道路改良や施設整備などを行う際に、その資金として長期的に借り入れるお金。また、財源不足を補うため地方交付税の代わりに借りるお金。**繰入金**＝基金（積立金）や特別会計から入るお金。**総務費**＝役場庁舎の維持管理、地域振興、情報政策などに要するお金。**民生費**＝児童や高齢者、障がい者福祉などに要するお金。**公債費**＝町債などの借入金の返済に充てるお金。**財政調整基金**＝町の貯金。予算に不足が生じた場合は取り崩し、余裕ができた場合は積み立てる。



総務課 財政係  
一条 駿 主事

### 【目的別】

- ①総務費 …… 15億 9,587万円 (24.1%)
- ②民生費 …… 11億 4,437万円 (17.3%)
- ③公債費 …… 8億 5,863万円 (13.0%)
- ④土木費 …… 8億 4,552万円 (12.8%)
- ⑤農林水産業費 …… 6億 5,184万円 (9.9%)
- ⑥衛生費 …… 5億 124万円 (7.6%)
- ⑦教育費 …… 3億 6,846万円 (5.6%)
- ⑧消防費 …… 2億 9,958万円 (4.5%)
- ⑨その他(商工費など) …… 3億 5,207万円 (5.2%)



### 【依存財源】

- ①地方交付税 …… 34億 2,226万円 (47.4%)
- ②国庫支出金 …… 6億 7,857万円 (9.4%)
- ③県支出金 …… 5億 1,429万円 (7.1%)
- ④町債 …… 4億 2,900万円 (5.9%)
- ⑤その他(地方譲与税など) 2億 6,982万円 (3.7%)

### 【自主財源】

- ⑥町税 …… 6億 526万円 (8.4%)
- ⑦繰入金 …… 6億 1,468万円 (8.5%)
- ⑧繰越金 …… 2億 3,091万円 (3.2%)
- ⑨寄附金 …… 2億 1,520万円 (3.0%)
- ⑩その他(使用料など) …… 2億 4,639万円 (3.4%)

表1 一般会計の決算収支状況  
〔単位：万円〕

①歳入総額	72億 2,638
②歳出総額	66億 1,758
③歳入歳出差引額 (①-②)	6億 880
④翌年度に繰り越すべき財源	3億 2,709
⑤実質収支 (③-④)	2億 8,171
⑥単年度収支	7,658
⑦財政調整基金積立金	3億 6,869
⑧繰上償還金	0
⑨財政調整基金取崩額	5億 8,588
⑩実質単年度収支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	▲1億 4,061

### ■決算の概要

令和4年度一般会計の決算は、歳入総額が72億2,638万円(対前年度比0.4%増)、歳出総額が66億1,758万円(5.8%減)となり、前年度決算と比較して歳出が4億円ほど減少しました。減少となった要因は、昨年8月に発生した豪雨災害に関する経費など約5億円を翌年度へ繰り越したことが主なものです。

歳入歳出の差引額は6億880万円の黒字決算となりました。このうち令和

### ■一般会計歳入

(総額72億2,638万円)

歳入では、各事業の増減があったものの、総額では前年度と比較して31,200万円減

の72億2,638万円となりました。

歳入全体の47.4%を占める地方交付税では、普通交付税が1億2,978万円の増額、災害や震災復興などの特別な事情で交付される特別交付税が34,100万円の減額の合計1億2,637万円の増となりました。国・県支出金でそれぞれの事業確定に伴い対前年度比1億4,677万円減少した一方、財政調整基金などからの繰入金に対前年度比48,811万円の増額となりました。また、自主財源の確保については、ふるさと応援寄附金が前年度を30,144万円を上回る1億9,432万円となりましたが、一般寄附金が増えましたが、一般寄附金が63,255万円と大きく減少したため、寄附金総額が24,111万円の減額となりました。

### ■一般会計歳出

(総額66億1,758万円)

歳出総額は前年度と比較して4億909万円減の66億1,758万円となりました。

目的別の前年度と比較した主な増減内容は次のとおりです。

**総務費** 令和4年8月に発生した豪雨災害の復旧事業の財源として多くの一般財源を充てたことで、財政調整基金に積み立てができなかったため、4億1,404万円の減、CATV映像機器高度化更新事業の完了により1億2,012万円の減  
**民生費** 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業の実施により46,780万円の増加となったが、非課税世帯臨時特別給付金事業や子育て世帯臨時特別給付金事業の完了に伴い1億2,992万円の減  
**消防費** 喜多方地方広域市町村圏組合消防費負担金25,050万円の増、消防屯所や防火水槽、小型動力ポンプ付積載車の整備などで4,102万円の増  
**災害復旧費** 8月に発生した農地及び農業用施設、林業施設の災害復旧に係る経費7,098万円の増

